### 令和5年度宮城県地域包括ケア総合推進・支援事業計画(案)について

# 1 現状分析,実情把握,地域課題分析,実績評価支援

事業名	実施内容
地域課題分析・実績評	○ 地域課題分析・実績評価基礎研修会 ~高齢者の保健事業と介護予防
価基礎・実践研修会の	の一体的実施事業計画立案~
開催	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進強化として,令和4年度
	時点で未実施の市町村を対象に,地域課題及び健康課題を見える化し,保健
	事業担当と介護事業担当がお互いの強みを活かした効果的・効率的な事業展
	開ができることを目指す。
市町村データの分析・	○ 県内市町村が行う現状分析の後方支援
調査【新規】	令和4年度の研修等結果より多忙な市町村職員は現状分析を行う時間が少
	なく, 一部は担当者の勘や前例踏襲等で事業を実施している可能性も窺えた。
	今後県内でも後期高齢者が増加し、介護費用も増加していく中で現状分析と
	効果的な事業の立案は必須であることから,市町村が行う現状分析の後方支
	援として、オープンデータを活用した市町村毎の現状分析・調査を行う。
介護予防に関する事業	○ 介護予防・フレイル対策等に関する事業評価及び介護予防・フレイル対策
評価・市町村支援委員	等に関する事業について市町村に対して行う支援に関する重要事項を調査
会	審議

#### 2 自立支援・重度化防止等に向けた取組支援

事業名	実施内容
アウトリーチ型伴走支	○ 地域支援事業,介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けたアドバイ
援(アドバイザー派遣,	ザー等の派遣支援
先行自治体視察支援	これまで県で実施してきた「介護予防のための地域ケア個別会議の推進」
等)	「住民主体の通いの場の推進」「生活支援体制の推進」「フレイル予防の推進」
	等でバラバラに活躍いただいていた各アドバイザーの合意形成を図り,『チー
	ムみやぎ』で市町村支援のさらなる強化を図っていく。
自立支援・重度化防止	○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る市町村担当課長セミナー
等に向けた取組強化研	○ 高齢者の「難聴」及び「誤嚥性肺炎」の正しい理解と対応に関する普及啓
修会	発モデル事業 市町村及び地域包括支援センター職員等支援者向け研修会
	市町村がその強みを活かし、地域の実情に応じた自立支援・重度化防止等
	の取組を効果的・効率的にできることを目指す。

### 3 リハビリテーション専門職等の活用支援

事業名	実施内容
専門職等の広域派遣調	○ 県内5ヵ所にある県保健福祉事務所単位実施
整に係る関係者連絡会	令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によ
地域の実情に応じた課	り保健所機能がひっ迫したため,with コロナにおける市町村支援の体制を再
題解決及び人材育成に	構築していく。

関する研修会	
専門職等の人材育成研	○ 地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種合同研修会
修会	県内市町村で活躍している専門職の実践報告及び意見交換,さらに参加者
	によるグループワーク等を通じて具体的な地域支援のイメージを持ってもら
	い,各市町村の実情に応じた効果的な支援ができる専門職の育成を目指す。

### 4 一般県民への普及啓発

事業名	実施内容
みやぎフレイル予防普	○ 介護予防,フレイル予防,社会参加等の普及啓発イベントの開催
及啓発事業	産学官民の連携によるイベント等を開催し,県民に広く普及啓発を図る。

#### 5 健康・生きがいづくり事業

事業名	実施内容
高齢者社会参加促進事	○ 宮城県老人クラブ連合会の社会参加に関する促進支援
業	高齢者福祉の向上及び高齢者の社会参加を促進するため、地域で活動する
	人材の確保を行う。

## 6 みやぎフレイル対策市町村サポート事業

事業名	実施内容
フレイル対策市町村	○ みやぎフレイル対策人材育成プログラムの検討
サポート事業	○ みやぎ健康支援アドバイザーのネットワークの構築
	○ みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援
	○ フレイル対策に関与する市町村職員等の人材育成
	○ フレイル対策事業評価・効果分析等の検討
	高齢者の健康寿命延伸に向け、市町村が効果的なフレイル対策を効率的に
	できるよう, 市町村に対して関係団体との連携協働による技術的な支援を行
	うとともに,フレイル対策の要となる低栄養の問題に対し,通いの場等で地
	域支援ができる栄養士の人材確保と育成を推進する。

### 7 認知症高齢者等にやさしい地域づくりサポート事業

事業名	実施内容
認知症高齢者等にや	○ 地域住民を対象とした町民公開講座の開催
さしい地域づくりサ	○ 高齢者とその家族等を対象とした健康講話及び健康相談会の実施
ポート事業	○ 院内における普及啓発の推進
	ウィズコロナ社会を見据え,地域に根ざした医療機関がデジタルデバイス
	を活用し、認知症及びフレイルの正しい理解と対応に関する普及啓発を図る
	ことにより,身体的・精神的・社会的フレイルの状態にある高齢者,特に軽
	度認知障害を早期に発見して適切な対応に繋げ、自分らしい生活の継続を支
	援する